

社会	第3学年	三次市立塩町中学校	指導者 三田 直子
(公民的分野) 現代社会と文化			
単 元 名	私たちが生きる現代社会 —持続可能な社会を実現するためには—		
本単元で育成する資質・能力		思考力・判断力 コミュニケーション力	

- 1 日 時 令和4年7月7日(木) 5時間目
- 2 学年・学級 3年B組(男子12人 女子16人 計28人)
- 3 単元名 現代社会の特色
(「中学生の公民〈よりよい社会を目指して〉」帝国書院)

4 本単元を指導するにあたって

【単元観】

本単元は、中学校学習指導要領(平成29年告示)解説社会編(平成30年)公民的分野(2)内容A 私たちと現代社会(1) 私たちが生きる現代社会と文化の特色 を受けて、単元「私たちが生きる現代社会—持続可能な社会を実現するためには—」を設定したものである。本単元は、公民的分野の導入として位置付けられている。そのため、現代社会の特色に関する適切な問いを設け、それらの課題を追究したり解決したりする活動を通して、これから始める公民的分野の学習で扱う現代の社会的事象について関心を高め、課題を意欲的に追究する態度を養うことを主なねらいとしている。

グローバル化や情報化の進展により、急速に変化する現代社会について学習する本単元では、少子高齢社会や人口減少など、現在、日本が抱える課題について、多面的・多角的に考察し、他者と協働しながら課題の解決をめざす活動を通して、今後学習する公民的分野の学習意欲や興味・関心を高めるものとした。

<本単元を通して伸ばしたい資質・能力>

※塩町中学校区では、小中9年間で身に付けさせたい6つの能力を定めている。本単元では、このうち①・③・④に重点を置くものとする。(特に重点◎, 重点○)

塩町中学校区6能力			
カテゴリー 【学力の3要素】 《評価の3観点》	資質・能力		
【思考力・判断力・表現力等】 《思考力・判断力・表現力》	①思考力・判断力 (筋道を立てて考え自分で決める力)	◎	②表現力 (自分を表現する力)
【学びに向かう力・人間性】 《主体的に学習に取り組む態度》	③課題発見力 (情報を活用し課題をつかむ力)	○	④コミュニケーション力 (関わる力)
	⑤キャリア形成力 (課題解決のために努力する力)		◎
	⑥感謝・貢献 (他者に感謝し自分を役立てる力)		

◎思考力・判断力・・・現代社会に見られる課題の解決に向けて、多面的・多角的に考察する力
現代社会に見られる課題の解決に向けて、選択・判断する力

○課題発見力・・・現代社会の特色について、情報を収集し、課題を発見することができる力

○コミュニケーション力・・・現代社会に見られる課題の解決に向けて、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力

【生徒観】

表1・2は、令和4年3月に実施した本校研究部作成アンケート「生活と学習に関する調査」のうち、現3年生の課題発見・解決学習の領域及び社会科に関する結果を示したものである。

表1 「生活と学習に関する調査」の課題発見・解決学習の領域に関する結果

領域	質問項目	肯定的評価
課題設定	授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみたい」と思います。	74.1%
情報の収集	授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。	58.6%
整理・分析	授業では、調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。	75.9%
	授業では、情報を、比べたり（比較）、仲間分けしたり（分類）、関係を見付けたり（関係付け）して、何が分かるのかを考えています。	77.6%
まとめ・創造・表現	授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手にわかりやすく伝わるように発表を工夫しています。	55.2%

表2 「生活と学習に関する調査」の社会科に関する結果

質問事項	肯定的評価	否定的評価
社会の勉強は好きです。	67.2%	32.8%
社会の授業はよく分かります。	77.6%	22.4%
社会の授業では、自分の考えを話し合うときに理由を挙げて説明しています。	65.5%	34.5%

表1の「授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。」や、「授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手にわかりやすく伝わるように発表を工夫しています。」、表2の「社会の授業では、自分の考えを話し合うときに理由を挙げて説明しています。」の質問項目に対する肯定的評価の割合が他の項目と比較して低いことから、自ら進んで情報収集を行うことや根拠をもって話し合いをすることに課題があることが分かる。

情報の収集に課題があることの原因として、進んで情報の収集をしたいと生徒に意欲を持たせるような学習活動の設定が不十分なことや、生徒が個人での情報の収集に難しさを感じていることがある。また、国立教育政策研究所教育課程研究センター（2022）『今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開中学校編』では、探究的な学習の更なる充実に向けて、「同じ課題を追究する学習活動を行っていても、収集する情報は協働的な学習の方が多様であり、その量も多い。情報の多様さと多さは、その後の整理や分析を質的に高めるために欠くことのできない重要な要件である」と示されている。これらのことから、情報の収集が不十分であることが質の高い学びにつながっていないと考える。また、根拠をもって話し合いをすることに課題があることの原因として、「根拠」となる資料や情報を収集したり、自分の考えを形成する時間の確保が十分にできていなかったりしたことがある。

【指導観】

本単元では、探究的な学習の過程に沿って単元計画を作成し、情報の収集や個人思考の時間を十分確保することで学びを深めさせたい。また、協働的な学びの場として他者と共に必要な情報を収集しながら、多様な立場や意見を踏まえ、資料を根拠として合意形成を目指す学習活動を設定する。その際、生徒が合意形成を目指して活発に議論できるよう、質問の視点を提示した「問いかけシート」（資料5）を開発した。これを活用し、合意形成過程を充実させることにより、生徒が社会に見られる課題の解決に向けて、選択・判断を繰り返しながら自分の考えを構築していく姿を目指したい。本単元の学習を通して、生徒自身が学習内容の深化を実感できる授業を実現したいと考える。

5 単元の見目

- 現代社会の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解することができる。
- 少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現することができる。
- 少子高齢化、情報化、グローバル化などに関する課題を見付け、課題を意欲的に追究したり、課題を解決しようとしたりする活動を通して、よりよい社会を形成していくにはどうすればよいか主体的に考えたり判断したりしようとしている。

<単元の見目を達成するための指導の工夫>

- 探究的な学習の過程に沿って単元計画を作成するとともに、「情報の収集」を行う時間を十分確保し、資料や根拠に基づいて選択・判断する場面を意図的に設定すること。
- 「問いかけシート」を用いた合意形成過程の充実により、多面的・多角的に考察したり、議論・意思決定をしたりしながら自己の考えを構築させていくこと。

6 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
・現代日本の社会の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。	・少子高齢化、情報化、グローバル化が現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代社会に見られる課題の解決に向けて対話や議論を通して、よりよい解決策を選択・判断し、表現している。	・私たちが生きる現代社会について、少子高齢化、情報化、グローバル化に関する課題の解決を視野に、よりよい社会を目指し、主体的に考えたり、学習したことを生かそうとしたりしている。

7 指導と評価の計画（全4時間）

○：「評定に用いる評価」 ●：「学習改善につなげる評価」

時数	【学習内容】	評価				
		知・技	思・判・表	主体的	評価規準 (評価方法)	資質・能力
1	○（事前にアンケートを実施する。興味・関心を基に学習グループを作成しておく。）					
	【単元を貫く問い】 よりよい社会を創るために、現代社会の課題をどのように解決していったらよいだろう。					
	☆情報化が進む現代 「情報化が進み、社会や私たちの生活はどうなっているのだろう」	○			現代社会において情報化が進んでいることを理解している。 (ワークシート)	

3	<p>○課題について考えよう①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回各グループで設定した課題について、どのような解決策があるか、その根拠は何か、どのような取り組みをしているか等、情報の収集を行う。 (データの信憑性、出典、誰の意見かについて慎重に確認するよう指示する。) (個人で行い、必要な情報はワークシートにメモをしたり、タブレットのフォルダーに取り込んだりしておくよう指示する。) ・集めた情報を基に、課題に対する個人の解決策をまとめる。 			●	<p>現代社会における課題について積極的に課題や資料、自分の考えの根拠を見付けようとしている。 (行動観察・タブレット端末・ワークシート)</p>	
4 本 時	<p>○課題について考えよう②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題について、どうしたらよいか解決策（納得解）を考察する。 ・調べた情報や根拠を基に議論を進めていく。 ・納得解をまとめる。最後はタブレットに記録し、スライドにまとめる。(紙でまとめた場合は写真にとってスライドに添付する) ・課題に対して、自分の考えを再構築し、まとめて、表現する。 ・家庭学習として、他のグループの考えを見て、単元を貫く問いに対する自分の考えをワークシートに表現する。 		○	○	<p>現代社会に見られる課題の解決に向けて対話や議論を通して、よりよい解決策を選択・判断し、表現している。 (班活動・行動観察・ワークシート)</p> <p>少子高齢化、情報化、グローバル化に関する課題の解決を視野に、よりよい社会を目指し、主体的に考えたり、学習したことを生かそうとしたりしている。 (ワークシート)</p>	① ④

8 本時の展開

(1) 本時の目標

現代社会における課題の解決に向けて、グループや自分の考えをまとめることができる。

(2) 観点別評価規準

(思考・判断・表現)

現代社会に見られる課題の解決に向けて対話や議論を通して、よりよい解決策を選択・判断し、表現している。

(3) 準備物

ワークシート、パソコン、モニター、書籍、辞書、ホワイトボード、ホワイトボードマーカー、ペン、画用紙、付箋、思考ツールの紙、録画用タブレット、ビデオ

(4) 学習の展開

	<p>学習活動</p> <p>合意形成過程</p>	<p>主な発問・指示 (○) 予想される生徒の反応 (☆) 「C」と判断される生徒への手だて (◆) 指導上の留意点 (●)</p>	<p>評価規準 【資質・能力】 (評価方法)</p>
<p>導入 5分</p>	<p>○振り返りをする。</p> <p>○課題を確認する。</p> <p>事実判断 ↓</p> <p>○単元を貫く問いを確認する。</p>	<p>○モニターや黒板に、前時の生徒の振り返りを提示する。</p> <p>●各グループが設定した課題をモニターに提示し、確認する。</p> <p>○集めてきた情報や個人の考えを基に、課題の解決に向けてグループで学習していくことを伝える。</p> <p>●話し合う時間を十分確保するために、導入を短時間で終わるようにする。</p> <p>○単元を貫く問いを提示する。</p>	
<p>【単元を貫く問い】 よりよい社会を創るために、現代社会の課題をどのように解決していったらよいだろう。</p>			
<p>○本時のめあてを知る。 ○本時のめあてを提示する。(資料4)</p>			
<p>【めあて】 現代社会に見られる課題の解決案をグループで作成しよう。 また、自分の言葉で考えをまとめよう。</p>			
<p>○学習の流れを確認する。 ○モニターに以下の学習の流れを提示する。 ●見通しを持たせるために、大まかな手順と時間を確認させる。</p>			
<p>【学習の流れ】 1. 自分の考えを、根拠を基にグループの人に伝える。 2. 「問いかけシート」を活用して、それぞれの考えに対して質問をする。 3. よりよい社会を創るための解決策について、グループのみんなが納得する案を1つ考え、まとめる。(この時、根拠となる資料を示すこと。)</p> <p>《まとめ方》 グループで①・②を選択する。 ①クラスルーム内の各グループのスライドにまとめる。(授業終了5分前までに) ②紙や画用紙などにまとめる。(最後に写真を撮って、グループのスライドに貼り付けをする。)</p> <p>※資料、本、紙やペンなど活動に必要なものは、教室後方に取りに行く。</p>			

<p>展開 活動① 10分</p>	<p>1. 自分の考えを、根拠を基にグループの人に伝える。</p> <p>2. 「問いかけシート」を活用して、それぞれの考えに対して質問をする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>*合意形成の過程で、思考が行き来する様子を矢印で示している。</p>	<p>○最初に各自の考えを確認するように指示する。</p> <p>◆「問いかけシート」を見て、どう発問するかが分からない場合は、生徒と一緒に具体的な質問を試みる。</p>	
<p>展開 活動② 30分</p>	<p>3. よりよい社会を創るための解決策について、グループのみんなが納得する案を1つ考え、まとめる。</p> <div style="text-align: center;"> </div>	<p>○みんなが納得できる解決策を構築していくにあたり、各自の考えや思いも述べ、納得できるところを探しながら話し合いを進めるよう、各グループへ伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●まとめ方は、①タブレットのスライド②紙媒体のいずれかにまとめるようグループに選択させる。 ●根拠に基づいた解決案になるよう、資料や情報についても、「問いかけシート」で互いに質問しながら精進していくように促す。(資料1) ●話し合いの途中で、多数決で誰かの意見に依拠してしまいそうなグループは、本当にみんなが納得しているか、根拠は適切か、「問いかけシート」を活用して検討していくように促す。 ●各グループの議論の様子を机間巡視で確認する。社会的な見方・考え方に基づいて考えられていない場合や議論が進まない場合には、ファシリテートする。 ●根拠となる情報が必要な場合や新たに調べたいことがある場合には、「本・データコーナー」に移動して情報を収集したり、タブレットを活用して情報を収集したりしてもよい。しかし、タブレットばかりに気を取られ、時間がなくなる恐れがあるため、時間内にまとめることがゴールであることを伝えておく。 	<p>現代社会に見られる課題の解決に向けて対話や議論を通して、よりよい解決策を選択・判断し、表現している。 (班活動・行動観察・ワークシート) (資料2・3)</p>
<p>※活動が停滞してきた場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グループの解決案を他のグループと交流させる。 ○他のグループがどんな案を考えたか交流させ、『問いかけシート』を活用しながら質問させる。 ☆「そういう考え方は私たちのグループにないね。」 ☆「似たような解決策だけど、ここは違うことが分かったね。」 ☆「現実的だけど、持続可能性に欠けているのかな。」 ●新たな視点が加わることで、考えが広がったり深まったりすることを目指す。 			

<p>まとめ 5分</p>	<p>○個人で考えをまとめる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">個人思考</p>	<p>●グループ活動が途中で、必ず個人で考える時間を確保する。</p> <p>○グループの解決策をそのまま使うだけでなく、自分の考えや価値観を、根拠を踏まえながら書くよう指示する。</p> <p>◆自分の考えが書けない生徒には、グループの解決策を見ながら、書くように指示する。</p> <p>●各グループが作成した解決策については、他のグループの成果も見ることができるようするために「生徒のみ閲覧」と設定して、クラウド上に掲載しておく。また、学習の成果物を校内に掲示しておく。</p> <p>●【単元のまとめ（家庭学習）】他のグループのまとめを見て、単元を貫く問いに対する自分の考えをワークシートに記入してくるよう指示する。</p>	<p>少子高齢化、グローバル化、情報化に関する課題の解決を目指し、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したこと生かそうしたりしている。（ワークシート）</p>
-------------------	--	--	--

資料1 活動②の想定

○合意形成過程の展開例

- ・少子化の課題を解決するために、男性の育児休暇の取得率の向上と結婚についての取り組みを挙げて、合意を目指そうとしているグループ

「問いかけシート」で考えの深まり

Aさん：「私は、男性の育児休暇の取得率を100%にすればいいと思うよ。」

Bさん：＜問いかけシートの「実現可能性」「現実と理想」の視点を活用＞

「実現可能性の視点で考えの深まり」

「それはとてもいいと思うよ。いつかそうなればいいなとも私も思うよ。でも、『実現可能かな？』内閣府の資料をみると、42%の男性が育児休暇の取得を希望していないそうだよ。希望しない人の理由は『職場に迷惑をかける』37%、『男性の育児取得を認めない雰囲気』33%となっていて、ここを改善することが必要かもね。」

「考えの再構築」

Aさん：「そうだね。取得しやすいような雰囲気づくりを会社に働きかけることも大切だね。」

「立場を変えることで考えの広まり」

Cさん：「でも、会社にとってみれば、休暇を取得する人が増えると、生産性が落ちるし、効率的ではないと思うよ。」

Bさん：「でも、男女問わずみんなが育児休暇を取得すると決めることは、男女平等でよいと思うな。」

(略)

Cさん：「私は結婚する人を増やすことが必要だと思うよ。」

「問いかけシート」で考えの深まり

Aさん：＜問いかけシートの「権利・自由」「実現可能性」に着目＞

「でも、結婚って個人の自由だし、一人一人の気持ちの問題だから、増やすことって実現可能なのかな。」

「考えの再構築」

Cさん：「そうだね。結婚する人が増えることで、子供も増えると考えていたけど、『結婚する』『結婚しない』は個人の自由だから、少子化を解決する取り組みとしては難しいね。」

「新しい考えの提案」

Bさん：「それでは、家族の良さを伝えるような取り組みを行って、少しでも結婚に対しての意識を高めるといのはどうかな？」

資料2 資料1の展開例におけるAさんとCさんの考えの深まり

	Aさん	Cさん
個人の解決案 (合意形成過程の前)	男性の育児休暇取得率を100%にする。	結婚する人を増やす。
合意形成過程で働かせた社会的な見方・考え方	「実現可能性」「理想と現実」「効率」	「権利・自由」「実現可能性」
考えの変容 (合意形成過程の後)	現実的な方法として、育児休暇を取得しやすい雰囲気づくりを会社に働きかける。	結婚は個人の自由なので、少子化を解決する方法として、単純に結婚する人を増やすというのは難しいのかもしれない。

資料3 評価指標 (ルーブリック)

評価指標 (ルーブリック) ① 社会的な見方・考え方を働かせて、他者と協働し、よりよい解決策を選択・判断しながら表現している。(思・判・表)

○評価方法：行動観察 (グループ活動の様子)・ワークシート

A	・現代社会に見られる課題の解決に向けて、社会的な見方・考え方を働かせて、積極的に自分の意見を述べたり相手の意見を傾聴したりしながら、対話や議論を通して、よりよい解決策を目指し、グループの意見もまとめつつ自分の考えも再構築しながら表現している。
B	・現代社会に見られる課題の解決に向けて、社会的な見方・考え方を働かせて、対話や議論を通して、よりよい解決策を目指し、自分の考えを再構築しながら表現している。
C	・現代社会に見られる課題の解決に向けて、よりよい解決策を目指しているが、自分の考えを再構築することができていない。

評価指標 (ルーブリック) ② 根拠となる多くの情報や他者の意見を選択・判断している。(思・判・表)

○評価方法：ワークシート

A	・現代社会に見られる課題の解決に向けて、よりよい社会を創るためにどうすればよいか、自分の考えを表現するにあたり、根拠となる多くの情報や他者の意見をより適切に取捨選択し、判断して取り入れている。
B	・現代社会に見られる課題の解決に向けて、よりよい社会を創るためにどうすればよいか、自分の考えを表現するにあたり、根拠となる多くの情報や他者の意見を選択・判断して取り入れている。
C	・現代社会に見られる課題の解決に向けて、よりよい社会を創るためにどうすればよいか、自分の考えを表現するにあたり、情報や他者の意見を取り入れることが十分できていない。

資料4 板書計画

私たちが生きる現代社会—持続可能な社会を実現するためには—

問い：よりよい社会を創るために、現代社会の課題をどのように解決していったらよいだろう。

本時のめあて：現代社会に見られる課題の解決案をグループで作成しよう。また、自分の言葉で考えをまとめよう。

ICT活用のルール

- ・学習に関係のない検索をしない。
- ・カメラは基本的には使わない。学習の記録のために必要な場合のみ。

【少子高齢化】

課題1

課題2

課題3

課題4

【情報化】

課題5

課題6

【グローバル化】

課題7

課題8

話し合いはもちろん自分の考えを書いた後の推敲の場面、
「調査研究」などでも活用してみよう！



「現代社会」の学習を深めるため



問いかけシート

自分や相手に問いかけてみよう！



◎以下に示した視点などで、相手に問いかけてみたり、自分の考えを見直す時に問いかけてみたりしよう！他にもいろんな視点で問いかけてみよう！

<意見や主張の反対の言葉で問いかけよう！>

理想⇔現実

個人⇔全体

権利・自由 ⇔ 責任・義務

など

<問題・課題について、よりよい話し合いにする視点から問いかけよう！>

びょう
信憑性
・本当かな？

妥当性

- ・～の視点でそれは適切かな？
- ・その解決策は適切かな？

など

<社会科の学習を深める視点から問いかけよう！>

効率

- ・〇〇（時間、資源、方法、材料、資金など）の無駄がないかな？



公正

- ・それってみんなにとって平等かな？
公平かな？

実現可能性

- ・それって本当に実現できる？

持続可能性

- ・それって本当に（今も未来も）
続けていくことができるかな？

など



ここに示している言葉や視点以外にも、どんどん質問をしよう！